県民スポーツ大会
「歩け歩け運動」を加え
盛会に開催さる

県民スポーツの日横越村大会は、六月十五日横越中学校体育館、同校グランド、横越小学校体育館、同校校庭において行われた。

今年の大会は、例年実施している柔道、剣道、銃剣道、ボートボール、ソフトボール、バレーボールの種目に、新しく「歩け歩け運動」をとり入れ盛会に行われた。

「歩け歩け」では、高令者の参加が中心で、午前10時に横越中学校を出発し、沢海まで歩いた。途中、北方博物館を見学、大栄寺で昼食を食べて午後三時横越にもどった。

○柔道▽小学四、五年生①永木護。②佐藤豪。③酒井勝己。▽小学六年生①古沢茂。②大島正芳。③入山昭彦。▽中学生A①本間徳和。②塩井要一。③青木信次。▽中学生B①中沢巧。②長谷川正明。③田代孝弘。

○剣道▽小学四年生①難波忍。②原雅樹。③和田政美。▽小学五、六年生①植木大輔②遠藤雅彦。③青木茂幸。▽中学一年生①飯野浩則。②山田洋一。③遠藤裕彦。▽中学二年生①仲村裕行。②伊藤藤博。③熊倉勝正。▽中学三年生①山田淳。②仲村浩行。③残間昇▽一般①石附正二。②阿部嘉寿一。③田村雅雄。

○銃剣道▽一般①佐藤正男②佐藤左右。③茅原新二。

○ソフトボール▽小学生①横越下。②小杉A。③小杉B③横越中。▽一般①横越ボウラーズ。②桜橋工業。

○ボートボール▽小学生①横越下。②横越中。③横越上・川根谷内連合。

○バレーボール▽一般女子①横越クラブ。②横越中学校A。

正々堂々と斗います

若者に負けないぞ歩け歩け

第五回 俳句作品公募
〜初心者大歓迎〜

(1)公募句題(通じて六句)
○雲の峰
○浴衣
○月見草

(2)〆切り
七月三十一日まで

(3)選者
山田初雪、大沢かのい
阿部金波、青木竹花、
小林竹生、坪谷十九一
田中郁郎

随想
亡びゆく村の植物(下)

木津山　田　正　三

〝蒲公英(たんぽぽ)やいくたび踏まれて今日の花〟と詠じられ、根強い雑草の代名詞のような蒲公英さえ殆んど見受けられなくなってきたのはどうしたことか。

昭和四十年、沢海小在職当時、星校医先生が、「学校で蒔くところがあったら」といわれ、蒲公英の種子を多くくだされたが、校地の狭隘と私たち職員の努力不足から、先生のご厚意を生かし得ず、今も申し訳ないと思っている。

家屋地形の土止め用としても残しておきたい。

この他、亡びつつある村の植物も多くあろう。これを何とかして残しておきたいと念願する老人の痴言(たわごと)に耳を傾ける程、村の方々は閑(ひま)ではある

まい。

一面、有島武郎の「小さき者へ」にも〝お前たちは私の古臭い心持ちを嗤い憐れむかも知れない。私はお前たちの為にそうあらんことを祈って「じゃのひげ」(通称竜の髭)はどこの家庭にもあったし「たつのひげ鉄砲」の弾丸にもなったが、コンクリートの普及は、これを不用にしてしまった。郷(ふる)びた風情のあるこの植物も消えゆく運命にあるとある。

最近、村内の各部落にはヒマラヤシーダー、メタセコイヤ、貝塚伊息等が急速に大巾に増加しつつある。

村の植物の世界も、新旧交替の時期に入っているのかも知れないと僅かに慰めている。

がんばる横越健児
渡辺君(四〇〇メートル)ら四人が一位に
三市中蒲中学校陸上競技大会

去る六月十七日、樹々の緑深まる村松町立陸上競技場で開かれた三市中蒲中学校陸上競技大会で横越中学校生徒は男子四〇〇米に出場した渡辺幸男君が55秒9の大会新記録で一位に、女子一〇〇米でも松本典子さんが13秒7の大会新記録で一位になったのをはじめ、八〇〇米で仲村恒人君が一位になったほか、二位に三人三位に四人、四位に四人、五位に一人が入賞するなど、めざましい活躍があり、沈滞していた本村中学校陸上界に明るい光を与えてくれた。

今回の大会は、男女26種目のうち、26個の大会新記録と3個の大会タイ記録が出、近年にない、盛会な大会であった。

○男子
▼二〇〇米③岩橋徳則24秒6大会タイ。▼四〇〇米①渡辺幸男55秒9大会新。▼八〇〇米①仲村恒人2分14秒4。▼一、五〇〇米②仲村恒人4分32秒8。▼八〇〇米リレー⑥横越中。▼走巾跳④大竹進▼走高跳③阿部昭一1米56。▼砲丸投④青山栄。▼三段跳④大竹進。

○女子
▼一〇〇米①松本典子13秒7大会新。▼二〇〇米②松本典子28秒7。③目黒照美29秒3。▼三種競技③風間晴美二〇八二点大会新。▼低学年四〇〇米リレー②横越中56秒9走高跳に長谷部彰子さんが一位になったほか、二位に三人三位に四人、四位に四人、五位に一人が入賞するなど、めざましい活躍があり、沈滞していた本村中学校陸上界に明るい光を与えてくれた。

今回の大会は、男女26種目のうち、26個の大会新記録と3個の大会タイ記録が出、近年にない、盛会な大会であった。

○男子
▼二〇〇米③岩橋徳則24秒6大会タイ。▼四〇〇米①渡辺幸男55秒9大会新。▼八〇〇米①仲村恒人2分14秒4。▼一、五〇〇米②仲村恒人4分32秒8。▼八〇〇米リレー⑥横越中。▼走巾跳④大竹進▼走高跳③阿部昭一1米56。▼砲丸投④青山栄。▼三段跳④大竹進。

○女子
▼一〇〇米①松本典子13秒7大会新。▼二〇〇米②松本典子28秒7。③目黒照美29秒3。▼三種競技③風間晴美二〇八二点大会新。▼低学年四〇〇米リレー②横越中56秒9子1米39。④佐藤恵美子。

国際交流もさかんな青年
「県青年の船」で7人ソ連へ
…中国へは小舟戸君と石倉さん…

本村青年は、国内では、茨城、栃木、青森、沖縄県の青年との交流がさかんに行われているが、このところ、海外の青年との交流も盛んで、海外渡航する青年も増え、国際理解に大きな役割を果している。

第三回新潟県青年の船(県連青主催)は、七月一日から十日間の日程で、ハバロフスク、イルクーツク、ブラーツクの三コースに分れ、主要都市の施設視察や地元青年と交歓研修会が行われるが、この「青年の船」に本村から田村孝平、市村豪治、阿部修一、長谷部雅文、市村正巳君と伊藤恵子、市村益さんの七人が参加される。

この「青年の船」には、本村から第一回のときに14名、第二回に6名の青年が参加しており、両国の友好親善の一役を果してきた。

一方、東北、信越「農民の船」では、本村青年小杉上小舟戸正夫君(28)と駒込石倉美恵子さん(28)ら四百名の団員が、八月十日から十五日間、中国上海市、天津市、北京市に派遣されることになった。

この催しは、国際友好と中堅青年リーダーの育成のため東北、信越の各県と日中友好協会(正統)本部の共催で開かれるもの。

新潟県から百名が派遣される。

県団員は出発に先きだち事前研修を七月十八日から二日間の日程で小千谷市民の家で開かれる。

小杉児童館・双葉保育園
幼児家庭教育学級
開設さる

子どもが生まれてから成人に達するまでの20年間、両親がその子どもの成長に応じて家庭教育に関する学習を組織的、継続的に行うことを家庭教育学級と呼んでいる。

本村では、今まで小学校の児童をもつ両親を対象に二つの学級が開設されていたが、今年は、小杉児童館と双葉保育園のお母さんを対象に二つの幼児家庭教育学級も開設された。

幼児期の家庭教育の特色は通園などによって集団生活が営まれ、社会参加への第一段階であること。従って、しつけや対人関係の発達上重要な課題である。

また、しつけや教育は、学校や保育園に依存する傾向があるが、人間形成にとって、最も基礎的なのは、家庭である。家庭内における親の生活態度も重要な課題である。

このようなことから両幼児学級では、子どもの成長に応じた家庭教育に関する学習をするほか、お母さん方自身が豊かな趣味生活を送るための学習内容がおりこまれ、六月開講式が行われた。

婦人団体
指導者研修会
〜婦人会役員〜

婦人団体活動を円滑にするために事業の企画及び実施に必要な知識、技能の修得をはかる。

1.期日　七月二十日
　午前九時三〇分から
2.会場　横越村公民館
3.研修内容
(1)集団心理と役員の心構え
(2)婦人団体の事業計画のたて方
(3)婦人団体の活動発表
(4)ゲーム指導

村民野球大会出場申込み

1.大会期日
8月16、17、24日
試合開始時間午前七時から
2.会場
沢海グランド
横山野球場
3.出場資格
(1)本村に現住所があるもの。
(2)本村にある事業所に勤務するもの。
(3)本村体育協会野球部門に加盟しているもの。
(4)5月1日現在に野球クラブチームが結成されているもの。
4.選手登録
監督、選手を含め一チーム20名以内
5.試合方法
トーナメント戦、七回戦
6.出場申込み
七月二十日まで横越村公民館必着
大会要項及び出場申込書は公民館にあります。

主催　横越村公民館
後援　横越村体育協会

横越村高校生父兄懇談会案内

○日時　七月二十三日
○場所　横越村公民館
○日程　(1)懇談　懇談
高校生の指導と問題点
(2)資料説明
高校生の学行の現況と家庭における問題等
○参集対象
高校生をもつ父兄及び青少年健全育成関係者

主催　横越村青少年健全育成懇談会